

# 街道にはお宝がいっぱい!!

## 11月10日八幡まるごと館 「街道をゆく」

- ① 昭乗広場～②宝青庵～③八角堂～④安心院～
  - ⑤正法寺～⑥九品寺～⑦世音寺～⑧善法律寺～金剛律寺跡～⑨頼風塚～⑩本妙寺～⑪泰勝寺～⑫相植稲荷社～下馬碑～二の鳥居～⑬安居橋・放生川～⑭高良神社～⑮頓宮～⑯五輪塔～⑰神應寺～⑱一の鳥居
- 高井さんが作られた行程表 ○は写真の番号です



① 昭乗広場に集合

### まるごと館初、外に出ました

昨日までの雨がきれいに止み、まちかど博物館「城之内」の高井輝雄さんとふるさと学習館の出口修さんに案内し

て頂き、4kmの道のりを19人で歩いて来ました。まるごと館にとって、とても印象的な1日となり、写真と記憶に残った部分を書き留めました。何しろ素人で抜けている所、拙い所が沢山あるとは思いますが、ご諒承下さい。(写真は通った順に載せています)

**宝青庵とは**  
別名紅葉寺と言われ、月夜田にある。歌人の吉井



② 宝青庵

## 八幡まるごと館だより

2015年11月24日/64号  
 <発行> 八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20  
 (TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)  
 (E-MAIL) yawata@marugotokan.net  
 ホームページは <http://marugotokan.net/>  
 又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。



勇が夫人と昭和20年から3年弱住んだ。男山吉井の地名は吉井勇に対する敬意の現れと聞きました。



③ 修復中の八角堂

吉井勇の歌の一つ。  
 「昭乗といへる隠者の住みし庵 近くにあるをうれしみて寝る」

### 石清水八幡宮のこと(1)

今回「はちまんさん」に行ったわけではないのですが、860年に石清水八幡宮が創建されたのは、前年奈良の僧行教が宇佐八幡(大分)の神託を受けこの地に勧請(分霊を他の神社に移す)してから。「はちまんさん」は僧侶が中心となって活躍したことから、神社と寺院が共存する神仏習合の宮寺だったそうです。当時

多くのお堂があって、毎日読経が流れていた。48坊と言われるくらいたくさんのお寺が男山にあった。徒然草に仁和寺の法師が石清



泥松稲荷社



極楽寺通じる道



京街道の道標



④ 安心院

水八幡宮に一度でいいからお参りしたいと、高良神社と極楽寺に行って帰ってきた話があります。後でわかるのですが、八幡宮と勘違



⑤ 正法寺で写真

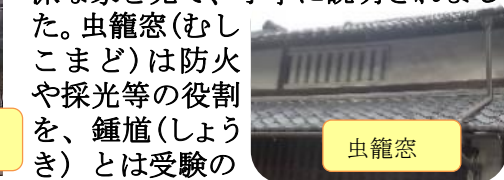
### 八幡には道標・旧蹟案内がいっぱい

道標を見て歩くと、昭和2年三宅安兵衛遺志と書いてあるのが多いです。三宅安兵衛さんは若狭で生れ、幕末の京都へ奉公し、京都で帯織物業を営み、一代で財をなした。「公利公益のために」お金を使うよう、息子さんに遺言を残したそうで、その息子の清治郎さんが京都市内から山城にかけて当時の2万円で400もの石碑を作った。八幡には何故か、その内140もあるそうです。(7月のふるさと学習館の拓本教室で教えて頂きました)

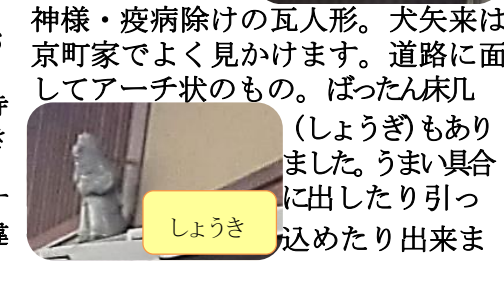


### 京町家のような...

高井さんは街道沿いの昔からの立派な家を見て、丁寧に説明されました。虫籠窓(むしこまど)は防火や採光等の役割を、鍾馗(しょうき)とは受験の神様・疫病除けの瓦人形。犬矢来は京町家でよく見かけます。道路に面してアーチ状のもの。ぱったん床(しょうぎ)もありました。うまい具合に出したり引いたり入れたり出来ま



虫籠窓



しょうき



⑤巡検道



大矢来

す。知らないと素通りしてしまいます。



⑥九品寺



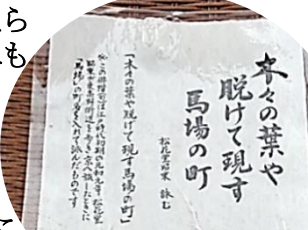
### 松花堂昭乗

石清水八幡宮の社僧(神仏習合の時代に神宮寺にいて仏事をつかさどった僧)。男山の中腹に建っていた瀧本坊の住職を務めた。寛永(1624~1645)の三



⑦世音寺

筆のひとりに数えられ、書、和歌や画にも秀で、当代一流と言われる文化人と交流があった。54歳の頃住職を弟子に譲り、「泉坊」内に茅葺の2畳の建物を「松花堂」と名付けて、そこで約2年間暮らし、1639年9月18日に亡くなった。建物は明治の初めに泉坊書院とともに現在の庭園に移築された。前述の三宅安兵衛遺志の碑が



松花堂昭乗の俳句

当時の「松花堂」の場所を教えてください。昭乗の墓は何種類もの南天がある泰勝寺(写真右)にある。元和元年(1615年)、昭乗が八幡から北野へ吟行した時、東高野街道沿いの八幡の町名を読んだ俳句の一つ。「木々の葉や脱けて現す馬場の町」この句についての高井さんのお話はとても興味深かったです。東高野街道を歩くと、竹額に昭乗の俳句をつけて展示してあるのに遭遇します。これは東高野街道ま



⑨頼風塚



⑩本妙寺

ちかど博物館協議会の取り組みです。

### まちかど博物館協議会とは

「この街道筋で暮らす私たちは地域の人々が自らの町の良さを再確認し、愛着と誇りを持ち、毎日楽しく暮らすと共に、訪ね来る人々に地域の文化・歴史に触れながら楽しく散策し交流していただくための、新しい地域づくり・観光スポットづくりを目指したいと考え、平成23年7月15日に7館(カフェ・キャンドル、走井餅、飛行神社、みささ堂、ミニギャラリー城ノ内、シルエット、お茶の福翠園)から出発いたしました」(まちかど博物館協議会ホームページより)。この3年余りの間、「まちかど雑祭り」、「松花堂昭乗も歩いた東高野街道展」、「ま



まちかど博物館「城之内」



⑪泰勝寺

作りながら歩いた道。なかなか風情有があります。知ることから



⑫相断留神社

次へと興味が広がっていきます。今回そんな経験をさせていただいたと思います。



山ノ井戸



⑬安居橋・放生川

### 安居橋周辺

昼食は安居橋周辺で足を労り、おにぎりやらサンドイッチをほおぼり談笑しました。

### 石清水八幡宮のこと(2)

「はちまんさん」の門前町が八幡宮の社務の邸を中心に発展していったそうです。室町時代には南北をつなぐ道(高野街道)、東西を結ぶ道路ができた。明治になって廃仏毀釈(きしゃく)で多くの境内の寺院や坊舎、仏像等が破壊か撤



⑭高良神社



⑮頓宮

去された中、松花堂で現在開かれている「太子堂」展は男山中腹から大津へ移され、男山に奇跡的に戻ってきた展示会です。また、明治以前八角堂は今のエジソン記念碑の所にあり、中にあった全長5メートル以上の木造の阿弥陀如来坐像はただいま正法寺に。どこに行ってもわからないものが少なからずあるそうです。



⑯五輪塔

### 終わりに

このたよりに書くのに、まるで勉強で一夜づけするような感覚になりました。八幡に住んでいながら、何も知らないから、自分の言葉で書けません。でも、いいきっかけをいただいた。八幡のまちが「はちまんさん」を中心に、大なり小なり関わりを持ちながら、形作られてきた、その歴史を知りたいと。案内をして下さったおふたりに感謝申し上げます。ありがとうございました。高井さんは旗まで作って下さって、たくさんのお話しをされ、興味深かったです。出口さんは多くの資料とまるで「生き字引き」のように解説されるのに感動しました。また、参加者の皆様もありがとうございました。とても楽しくて、素敵な一日となりました。参考：高井さん、出口さんの資料と「たんけん八幡(八幡の歴史を探究する会)」



⑰神應寺



⑧善法律寺



⑱一の鳥居